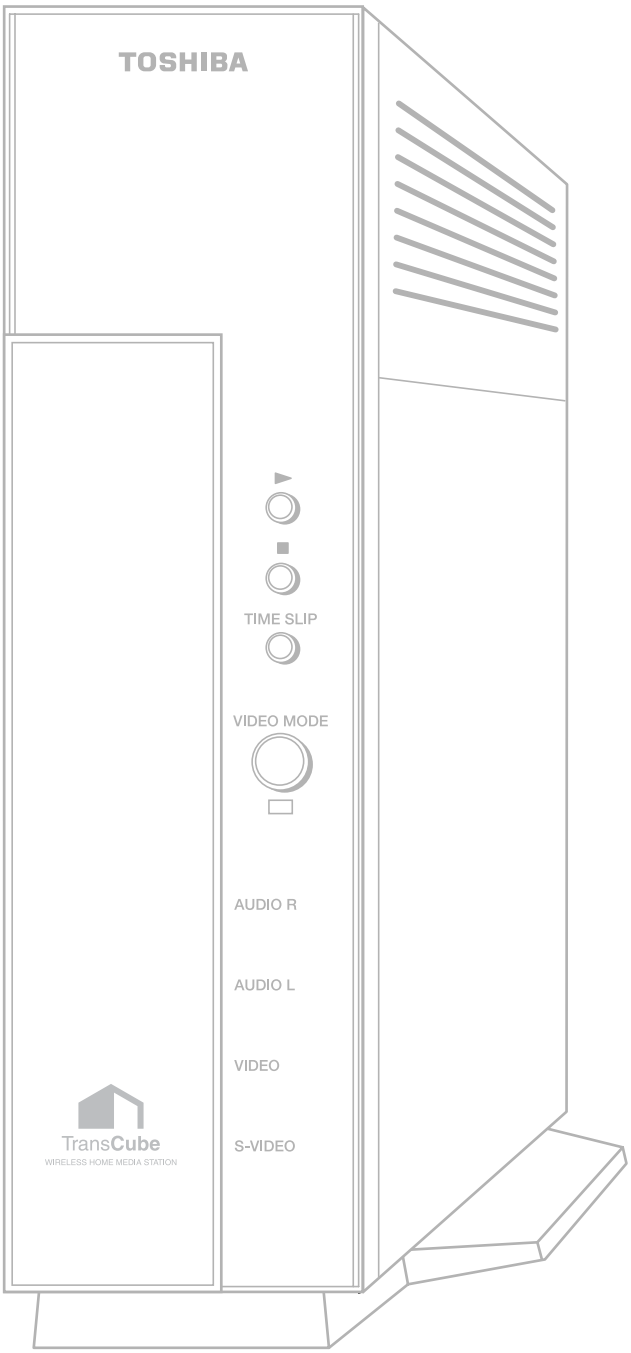
TOSHIBA

TransCube

WIRELESS HOME MEDIA STATION

取扱説明書

本体リファレンスマニュアル



●このたびは東芝ワイヤレスホームメディアステーションTransCubeをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
●お求めのTransCubeを正しく使っていただくために、お使いになる前に「取扱説明書」をよくお読みください。
●お子さまがご使用の際は、保護者の方が正しい使い方をご指導ください。
●お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

ワイヤレス ホームメディアステーション
トランスキューブ (TransCube 10)

免責事項について

●火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●本製品および本製品付属のソフトウェアの使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
●何らかの不具合によりハードディスクの録画、録音、編集がされなかった場合の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
●何らかの不具合によりハードディスクの録画済みの内容が消えてしまう場合があります。その場合の補償および付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断など）に対して、当社は一切の責任を負いません。
●無線 LAN の使用によるデータの盗聴、およびそれによる被害に関しては保証できません。
●インターネットなどのアクセスにより個人情報の漏洩、または不正アクセスが発生した場合、被害に関して保証できません。

用途制限について

・本製品は人の生命に直接関わる装置等（*1）を含むシステムに使用できるよう開発・制作されたものではないので、それらの用途に使用しないでください。

*1 ：人の生命に直接関わる装置等とは、以下のものをいいます。
・生命維持装置や手術室用機器などの医療用機器
・有毒ガスなど気体の排出装置および排煙装置・消防法、建築基準法など、各種法律を遵守して設置しなければならない装置など

・本製品を、人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステム（*2）に使用しないでください。

*2 ：人の安全に関与し、公共の機能維持に重大な影響を及ぼす装置等を含むシステムとは、以下のようなものをいいます。
・原子力発電所の主機制御システム、原子力施設の安全保護系システム、その他安全上重要な系統およびシステム、集団輸送システムの運転制御システムおよび航空管制制御システムなど

※本製品の保証条件は、同梱されている当社所定の保証書の規定をご覧ください。
※本製品を改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。
※本製品および本製品に付属のソフトウェアの仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
※本取扱説明書の内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
※購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取扱にはご注意願います。
※バージョンアップ用のデータについても同様です。お取扱にはご注意願います。
※お客様が設定されたパスワードを忘れてしまった場合、パスワードの再設定を保守サービスに依頼される場合は有償となります。

操作早見表

TransCubeには3つの動作モードがあります

① ルータモード

ルータとして機能します。テレビ視聴・ビデオ機能は休止しています。

② リモコンビデオモード

リモコン／本体スイッチで操作できます。
※パソコンでは操作できません。

③ PCビデオモード

LIVE MEDIA for TransCube（パソコンのアプリケーション）で操作できます。
※リモコン／本体スイッチでは操作できません。

※ビデオモード時もルータ機能は使用できます。

※2つのビデオモードを切り替えるには、一度ルータモードに戻る必要があります。

各ビデオモードで操作できる内容は以下のとおりです

操作	PCビデオモード	リモコンビデオモード
モード切り替え		
ビデオモードへの切り替え	LIVE MEDIA for TransCubeで接続	[ビデオモード]スイッチ
ルータモードへの切り替え	LIVE MEDIA for TransCubeの終了	[ビデオモード]スイッチ
テレビ視聴・再生		
テレビ視聴	○*1	○
お好み再生	○*1	○
スロー・早送り・巻き戻し再生	○*1	○
ワンタッチスキップ・ワンタッチリプレイ	○*1	○
リピート再生	○*1	ー
録画同時再生	○*1	○
レジューム再生	○*1	○
次／前のレジュームポイントへの移動	ー	○
録画		
ワンタッチ録画	○*2	○*2
録画延長・短縮	○	○
録画画質の切り替え	○*2	○*2
録画予約		
録画予約	○*2	ー
録画予約の削除・変更	○*2	ー
iEPG番組表での録画予約	○*2	ー
リモート録画予約のための設定	○	ー
予約した録画を実行中に停止	○	○
録画済みタイトルの操作		
タイトルの選択と再生	○*3	○*3
タイトルの削除	○*2	○*2
タイトルの保護・保護解除	○*3	○*3
サムネイル表示	○	ー
タイトルの名前などの変更	○*3	ー
タイトルの検索	○	ー
その他		
本体←→パソコンのコピー	○*3	ー
映像の解析	○*4	ー
映像設定・通信速度設定	○	ー
チャンネル設定・本体時刻設定	○	ー
ルータ設定*5	ー	ー

*1＝「標準」以上の画質で録画中で、通信速度設定が「標準」のときは映像はパソコンに表示できません。　*2＝録画中は実行できません。　*3＝録画中のタイトルに対しては実行できません。パソコンへのコピーについては、再生中のタイトルに対しても実行できません。　*4＝パソコンに保存されているタイトルに限ります。　*5＝ビデオモードのときは設定しないでください。

操作早見表 1

はじめに 5

テレビ放送を見る 7

ビデオモードへの切り替え 8
チャンネルを切り替える 10
●チャンネルの切り替え 10
●入力チャンネルの切り替え（[入力切替]ボタン） 11
お好み再生でのテレビ視聴 12
視聴画質の選択 14
音声の切り替え 15
画面情報表示の切り替え 16
●テレビ視聴時の表示切り替え 16
●タイトル再生時の表示切り替え 17

録画済みのタイトルを再生する 19

タイトルの選択と再生 20
再生の停止と一時停止 23
●停止 23
●一時停止 23
スロー再生 25
早送り・巻戻し 26
ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイ 28
追っかけ再生 29
録画同時再生 31
レジューム再生 34

テレビ番組を録画する 37

ワンタッチ録画 38
●ワンタッチ録画を行う 38
●録画情報を表示する 40
クイックタイマー録画（録画時間／予約録画時間の延長／短縮） 41
録画画質の選択 43
録画済みタイトルの削除 45
タイトルの保護／保護解除 48
ビデオテープにダビングする 50

LANの設定 53

無線LANについてのご注意.....54
●本製品を日本でお使いの場合のご注意.....54
無線LANについて.....55
●無線LANの特徴.....55
●無線LANの種類.....55
●無線LANを使用するとき.....55
●無線LANネットワークとは.....55
●無線LANのアンテナと設置場所について.....55
無線LANネットワークの種類.....56
●ピア・ツー・ピアワークグループ.....56
●インフラストラクチャネットワーク.....56
Windows XPでの無線LANの設定.....58
●ネットワーク名（SSID）を設定する.....58
●暗号キーを設定する.....60
●パソコンを「インフラストラクチャネットワーク」に設定する.....62
Windows Meでの無線LANの設定.....63
●ワイヤレスLANユーティリティのインストール.....63
●無線LANカードのドライバのインストール.....66
●パソコンから接続するアクセスポイントの設定.....68
●接続の確認.....69
有線LAN接続でのハブへの接続.....70

ルータの設定 71

ルータ設定の概要.....72
●はじめに.....72
●ルータ機能の概要.....72
ネットワーク接続の例.....75
●ADSLモデムをお使いの場合の接続例（おすすめの接続）.....75
●ADSLルータをお使いの場合の接続例.....76
●ルータをお使いの場合の接続例（特別な場合）.....77
「ホームメニュー」.....82
●設定ページの開き方.....82
●設定画面の概要.....83
●設定ページについての注意.....84
●「ホームメニュー」の構成.....85
「ステータス」のページ.....86
●ステータス／IP関連.....86
●ステータス／通信量関連.....88
「基本的な設定」のページ.....89
●接続モードの変更.....89
●WAN設定.....90
●LAN設定.....93
●無線LAN設定（基本）.....95
無線LAN設定（詳細）.....97
パケットフィルタリング設定.....99
ポートフォワーディング設定.....100
ルーティング設定.....102
機器管理設定.....104

システム管理設定 **105**
PPPoE 設定 **106**
ネットワーク設定を商品購入時の状態に戻す **108**
●ネットワーク関係の初期値一覧 108

仕様 111

本体 **112**
無線 LAN 部、無線 LAN カード **113**
●仕様 113
●技術基準適合について 116
●ユーザに対するお知らせ 116

商標について **120**
ハードウェアの保証とアフターサービスについて **121**

安全上のご注意

ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。この取扱説明書には、お使いになる方やほかの人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

[表示の説明]

表 示	表 示 の 意 味
⚠ 警告	“ 誤った取扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性のあること ” を示します。
⚠ 注意	“ 誤った取扱いをすると人が傷害※ 1 を負う可能性、または物的損害※ 2 のみが発生する可能性のあること ” を示します。

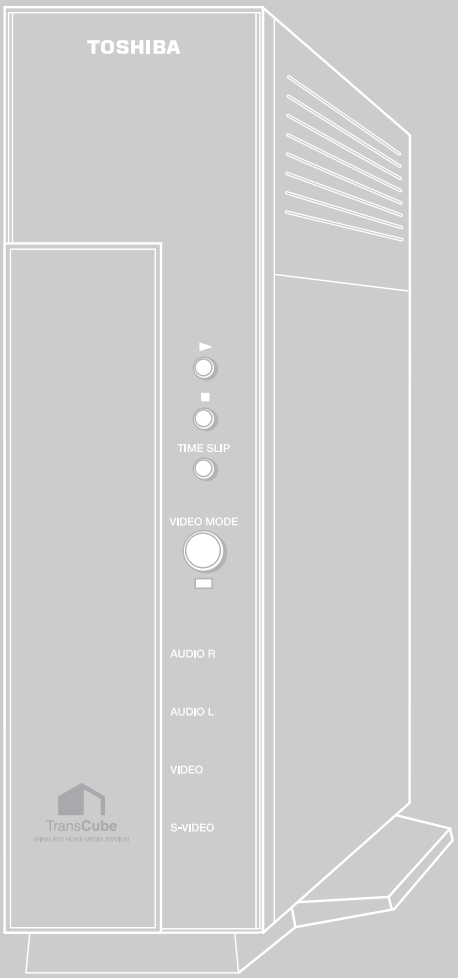
※ 1 ：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをいいます。
※ 2 ：物的損害とは、家屋・家財などにかかわる拡大損害をいいます。

[図記号の説明]

図 記 号 例	図 記 号 の 意 味
禁 止	“ ⃠ ” は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。
強 制	“ ❗ ” は、**強制**（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で説明しています。

テレビ放送を見る

■ ビデオモードへの切り替え.....8
■ チャンネルを切り替える.....10
■ お好み再生でのテレビ視聴.....12
■ 視聴画質の選択.....14
■ 音声の切り替え.....15
■ 画面情報表示の切り替え.....16



ビデオモードへの切り替え

本機に接続したテレビで番組放送を見るには、本機をビデオモードに切り替えます。

1 テレビとTransCubeが接続されていることを確認する

▶ 接続方法は「クイックスタートマニュアル」31ページをご参照ください。

2 TransCubeからの映像が表示できるチャンネルに、テレビを切り替える

▶ たとえばTransCubeからの映像／音声の出力端子をテレビの「LINE1」に接続した場合、「L1」からの入力を表示できるようにテレビの入力チャンネルを切り替えておきます

3 TransCubeの電源を入れ、表示窓に日付と時刻が表示され、ビデオモードLEDがオレンジに点灯していることを確認する。

▶ この状態を「ルータモード」といいます。

▶ ルータモードでは、表示窓にはPCアイコンは表示されていません。

PCアイコン が表示されていないことを確認する

4 ［ビデオモード］ボタンを押す

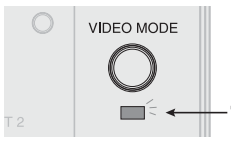
リモコン

本体

▶ ルータモードからビデオモードに切り替わります。

▶ ルータモードからビデオモードに切り替えると、表示窓に「Welcome to TOSHIBA」と表示されてから、日付の下の行に「CH01」とチャンネルを示す文字が表示されます。

▶ 本体前面の［VIDEO MODE］ボタンの下のLEDの色が、オレンジからブルーに変わります。



ブルー

5 TransCubeで受信した番組がテレビに表示される

ワンポイント

パソコンのLIVE MEDIA for TransCubeから接続している状態だと、リモコンや本体のボタンを使ってビデオモードに切り替えることができません。必ずLIVE MEDIA for TransCubeを終了してからリモコンや本体ボタンを操作してください。

このアイコンが点灯しているときは、リモコン／本体スイッチからは操作できません

ワンポイント

TransCubeをリモコン／本体スイッチでビデオモードに切り替えた場合、TransCubeの操作は付属のリモコンとTransCube本体前面にあるボタンでのみ行えます。パソコンのLIVE MEDIA for TransCubeから接続するためには、あらかじめリモコン／本体スイッチでルータモードに切り替えてください。

チャンネルを切り替える

放送局のチャンネル切り替え、テレビ放送と外部入力の切り替えは、次のように操作します。

チャンネルの切り替え

1 ［チャンネル］ボタンを押す

▶［チャンネル］ボタンの［▲］を押すとチャンネル番号が次のように変化します。

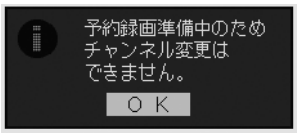
1→2→3→…→8→9→10→11→12→L1→L2

▶［チャンネル］ボタンの［▼］を押すとチャンネル番号が次のように変化します。

1←2←3←…←8←9←10←11←12←L1←L2

注 意

予約した録画の開始時間が近づいているときに［チャンネル］ボタンを押すと、右のようなメッセージが表示されます。この場合はチャンネルを変更することはできません。



ワンポイント

LIVE MEDIA for TransCube の「システム設定」で選択されていないチャンネルはスキップされます。

参照 チャンネルの設定　LIVE MEDIA for TransCube リファレンスマニュアル・141 ページ

ワンポイント

ケーブルテレビ（CATV）のチャンネルを選択するためにはあらかじめチャンネル設定をしておく必要があります。

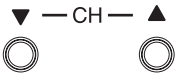
参照 LIVE MEDIA for TransCube リファレンスマニュアル　143 ページ

入力チャンネルの切り替え（[入力切替]ボタン）

ビデオデッキやカメラ一体型ビデオなどを入力 1 端子、入力 2（INPUT2）端子に接続した場合、[入力切替] ボタンで入力チャンネルを切り替えることができます。

1 **テレビ放送を見ているときに、[チャンネル] ボタンを押してLINE1、LINE2を表示する**

リモコン

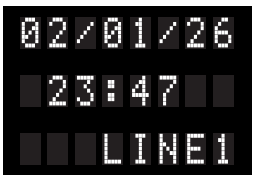


本体

▶ [入力切替] ボタンを押すと、テレビ放送→LINE1→LINE2→テレビ放送、の順番で切り替わります。

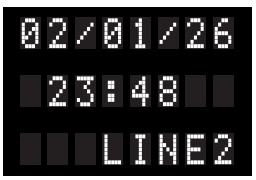
リモコン

▶LINE1、LINE2が選択されている場合、本体表示窓とテレビの画面には次のように表示されます。



本体表示窓（LINE1 のとき）

テレビの画面（LINE1 のとき）



本体表示窓（LINE2 のとき）

テレビの画面（LINE2 のとき）

お好み再生でのテレビ視聴

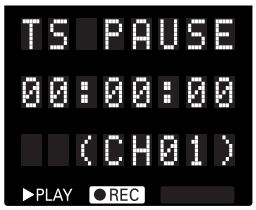
「お好み再生」は、現在視聴中の番組をハードディスクに録画し始めると同時に、再生を一時停止しておく機能です。たとえば不意の電話や来客時にお好み再生を実行すると、即座に番組録画を開始します。このとき、再生は一時停止状態になっていますので、必要なときに「お好み再生」を始めたところから再生できます。

1 テレビ放送を見ているときに、［タイムスリップ］ボタンを押す

▶ 録画が開始され、画面にはその時点での映像が一時停止の状態で表示されます。

▶ テレビ画面には、タイムスリップモードに変わったことを示すメッセージが表示されます（「TS」はタイムスリップの意味です）。

▶ 表示窓には、お好み再生の状態を示す［TS PAUSE］と表示されます。同時に、表示窓の最下部には、再生状態を示す［PLAY］と録画状態を示す［REC］が表示されます。



2 ［再生］または［一時停止］ボタンを押す

▶ 録画を続けながら、録画している番組を先頭から再生します。すなわち、「追っかけ再生」と同じ状態になります。したがって、テレビに表示されている番組は現在のものではなく、ハードディスクに録画されているものです。

▶ テレビ画面には、再生を示すマークが表示されます。

▶ 表示窓には、タイムスリップ再生状態を示す［TS PLAY］と、録画状態が続いていることを示す［REC］が表示されます。

3 ［タイムスリップ］ボタンを押してお好み再生を停止する

リモコン

本体

ワンポイント

一時停止、スロー再生、早送り、巻き戻しなどの特殊再生もできます。

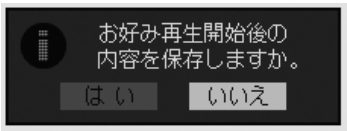
参照 一時停止　23 ページ　参照 スロー再生　25 ページ　参照 早送り／巻戻し　26 ページ

ワンポイント

お好み再生で録画したタイトルを保存したときは、タイトル一覧から選択して再生できます。

参照 タイトルの選択と再生　20 ページ

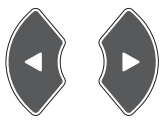
4 お好み再生中の録画内容を保存するかどうかを尋ねるメッセージが表示される

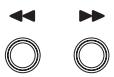


▶［はい］を選択すると録画内容が保存されます。

▶［いいえ］を選択すると録画内容は保存されません。

▶［はい］［いいえ］の選択：


リモコン


本体

▶［はい］［いいえ］の決定：

リモコン

本体

▶ 何も操作しない場合、メッセージは15分で自動的に消えます。この場合、録画内容は保存されます。

注 意

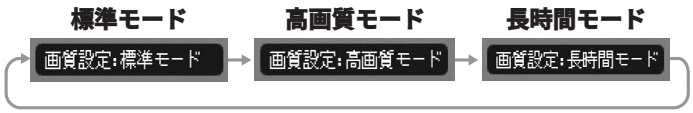
タイトルがすでに１００個登録されているときには、お好み再生はできません。不要なタイトルを削除してからお好み再生を行ってください。

視聴画質の選択

テレビ視聴時の映像の画質を選択できます。

1 テレビ番組を見ているときに、［画質］ボタンを押して、画質モードを選ぶ

▶［画質］ボタンを繰り返し押すと、画質モードが次のように切り替わります。



▶［画質］ボタンを押すと、設定される画質と同時に、ハードディスクの空き容量と、その画質で録画可能な時間が表示されます。

注 意

表示される録画可能時間は、あくまでも目安です。録画する映像の内容によっては、表示される録画可能時間に達する前にハードディスクの空き容量を使い切ってしまう場合があります。

注 意

画質モード変更時に、映像と音声が一瞬乱れることがあります。

ワンポイント

録画中および再生中は、画質モードの変更ができません。

音声の切り替え

テレビ視聴時やタイトル再生中の音声チャンネルを変更できます。

1 テレビ視聴中、またはタイトル再生中に、［音声／音多］ボタンを押して音声モードを選ぶ

▶［音声／音多］ボタンを繰り返し押すと、音声モードが次のように切り替わります。

▶ 番組によってモードが異なります。

・ステレオ放送の番組およびタイトル再生中

ステレオ（LR）→ 左チャンネル（L）→ 右チャンネル（R）

・二カ国語（音声多重）放送の番組

主音声（主）→ 副音声（副）→ 主＋副音声（主副）

▶ テレビ画面に表示される情報も、放送されている番組に応じて異なります。

・モノラル放送：何も表示されません
・ステレオ放送：図のように表示されます

ステレオ放送・両チャンネルモード	ステレオ放送・左チャンネルモード	ステレオ放送・右チャンネルモード
LR	LR	LR

・二カ国語放送（音声多重放送）：図のように表示されます

主音声・副音声	主音声	副音声
主副 9	主副 9	主副 9

注 意

電波の状況によっては、音声が 2 ケ国語、ステレオにならない場合があります。

ワンポイント

・モノラル音声を録画した場合は、左チャンネルと右チャンネル両方に同じ音声が記録されます。
・音声多重放送を録画した場合、再生音は「主音声」と「副音声」が同時に出力されますので、［音声／音多］ボタンで出力する音声を選んでください。
・タイトル再生中は、「主」「副」の表示は行われません。音声多重放送を録画したタイトルでも、「L」「R」で表示されます。

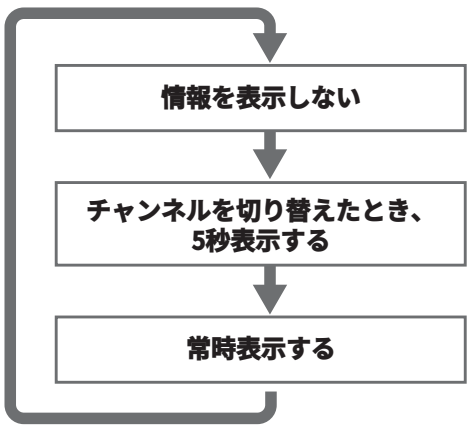
画面情報表示の切り替え

テレビ視聴時の表示切り替え

テレビ画面に現在のチャンネルや音声の情報を表示させたり、表示を消したりすることができます。この機能をOSD（On Screen Display）といいます。

1 **テレビを見ているときに、［表示］ボタンを押して表示モードを選ぶ**

▶［表示］ボタンを押すごとに次のように表示モードが変わります。



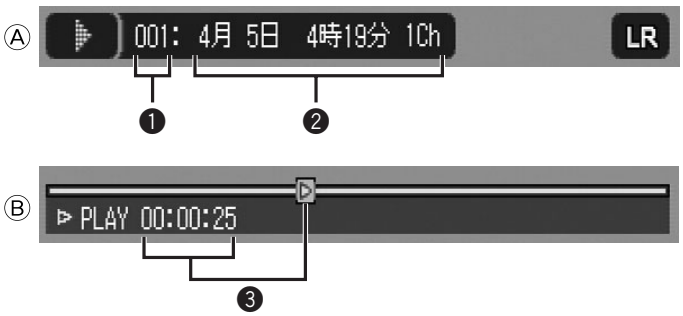
ワンポイント

「常時表示」に設定されている場合でも、約15分間操作がない場合は、画面の焼き付き防止のため、自動的に「5秒表示」に切り替わります。

タイトル再生時の表示切り替え

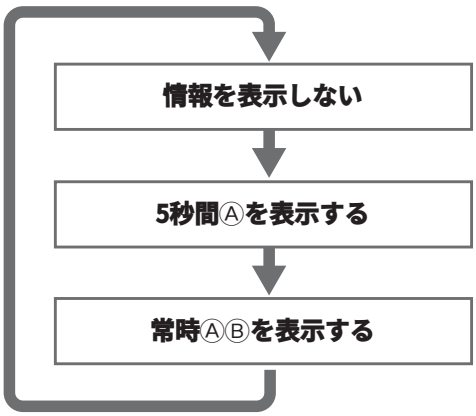
1 再生中に、［表示］ボタンを押して表示モードを選ぶ

▶ 録画した番組の情報が表示されます。



❶録画の番号
❷タイトル名（LIVE MEDIA TVでタイトル名を設定していないときは、録画日時とチャンネルがタイトル名として設定されます）
❸番組全体のうち、現在再生している位置を表示

▶［表示］ボタンを繰り返し押すと、情報表示が次のように切り替わります。

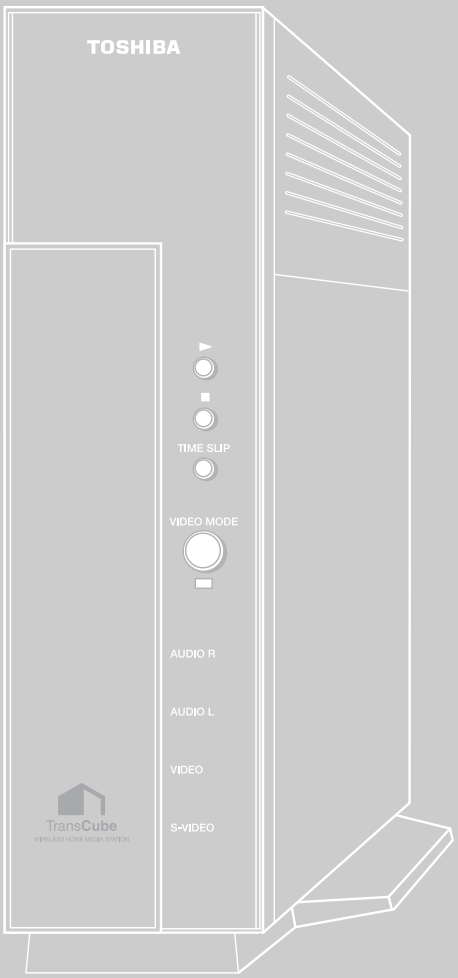


ワンポイント

「常時表示」に設定されている場合でも、約15分間操作がない場合は、画面の焼き付き防止のため、自動的に「5秒表示」に切り替わります。

録画済みのタイトルを再生する

■ タイトルの選択と再生 20
■ 再生の停止と一時停止 23
■ スロー再生 25
■ 早送り・巻戻し.....26
■ ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイ 28
■ 追っかけ再生.....29
■ 録画同時再生.....31
■ レジューム再生.....34



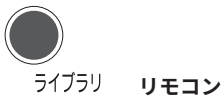
タイトルの選択と再生

ハードディスクに録画したタイトルは、タイトルの一覧を表示し、そこから選択して再生します。

1 テレビとTransCubeを接続し、TransCubeからの映像が表示できるチャンネルに、テレビを切り替える

2 TransCubeの電源を入れ、ビデオモードに切り替える

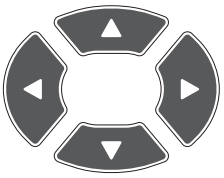
3 ［ライブラリ］ボタンを押す



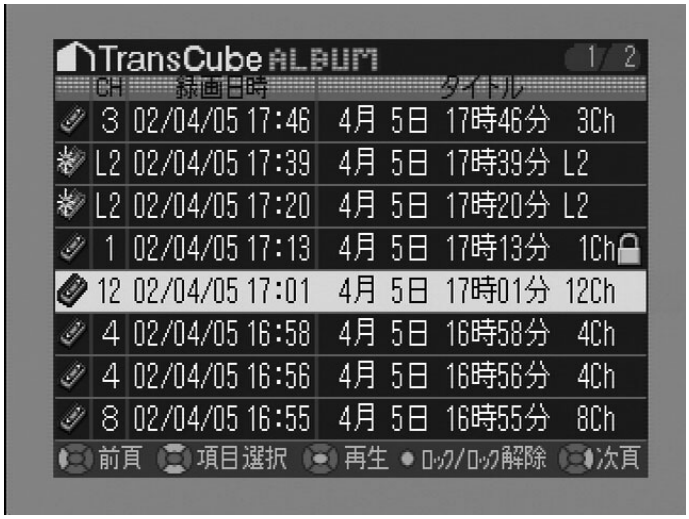
▶ 録画したタイトルの一覧が表示されます。

❶現在ページ　：現在のページ番号を表示
❷総ページ数　：記録されているページ数を表示
❸状態表示　：未視聴のタイトル
：視聴済のタイトル
：録画中のタイトル
：録画が正常に終了しなかったタイトル
❹CH　：録画したチャンネルを表示
❺録画日時　：録画した日時を表示
❻タイトル　：タイトル名（リモコン／本体操作で録画した場合は初期値として録画日時とチャンネルが設定される）
❼前頁　：前のページを表示する操作のガイド（リモコンの［◀］ボタン）
❽項目選択　：項目を選択する操作のガイド（リモコンの［▲］［▼］ボタン）
❾再生　：選択したタイトルを再生する操作のガイド（リモコンの［決定］ボタン）
❿保護／保護解除
：タイトルの保護／保護解除操作のガイド（リモコンの［保護］ボタン）
⓫次頁　：次のページを表示する操作のガイド（リモコンの［▶］ボタン）
⓬保護　：タイトルの保護状態を表示

4 方向キーを押して、見たいタイトルを選択する



リモコン



5 [決定] ボタンか [再生] ボタンを押すと、タイトルが再生される

リモコン

再生　リモコン

▶ 本体表示窓には、[PLAY] と表示されます。

ワンポイント

再生中は、次のボタンも使えます。

- ［早送り］　：2 倍速の早送りになります（続けて押すと速度が変わります）
- ［巻戻し］　：2 倍速の巻き戻しになります（続けて押すと速度が変わります）
- ［スロー］　：1/2 倍速のスロー再生になります（続けて押すと速度が変わります）
- ［ワンタッチスキップ］：約 15 秒先までスキップします
- ［ワンタッチリプレイ］：約 15 秒前までスキップします
- ［スキップ＋］　：次のタイトルの先頭、または同タイトルのレジュームポイントにスキップします
- ［スキップ－］　：同タイトルの先頭、または前のタイトルのレジュームポイントにスキップします
- ［停止］　：再生を停止します
- ［一時停止］　：再生を一時停止します

・追っかけ再生、お好み再生中は、［停止］ボタン、［スキップ＋］ボタン、［スキップ－］ボタンは使えません。

参照　レジューム再生　34 ページ

注 意

録画されたタイトルには 2 カ国語音声、ステレオ音声、モノラル音声の違いが記録されていません。常に 2 チャンネル分の音声を録音してあるので、再生時に適切なモードを選んでください。

注 意

タイトルの再生時、最後のフレームまで表示できないことがあります。

注 意

カウンター表示は目安です。正確に表示できないことがあります。

注 意

タイトルの再生開始時に、映像と音声が一瞬乱れることがあります。

再生の停止と一時停止

再生中のタイトルを停止したり、一時停止します。

停止

1 **再生中に、［停止］ボタンを押す**

停止　リモコン

本体

▶ 再生を停止し、テレビ放送または外部入力の映像を表示します。

一時停止

1 **再生中に、［一時停止］ボタンを押す**

一時停止　リモコン

▶ 本体表示窓には、［PAUSE］と表示されます。

2 **もう一度［一時停止］ボタンを押すか［再生］ボタンを押すと、一時停止した位置から再生が再開される**

一時停止

再生　リモコン

本体

▶ 本体表示窓には、［PLAY］と表示されます。

ワンポイント

一時停止中は、次のボタンも使えます。

・［早送り］　：2 倍速の早送りになります（繰り返し押すと速度が変わります）
・［巻戻し］　：2 倍速の巻き戻しになります（繰り返し押すと速度が変わります）
・［スロー］　：1/2 倍速のスロー再生になります（繰り返し押すと速度が変わります）
・［ワンタッチスキップ］：約 15 秒先までスキップします
・［ワンタッチリプレイ］：約 15 秒前までスキップします
・［停止］　：再生を停止します

・追っかけ再生、お好み再生で一時停止中は、［停止］ボタンは使えません。

注 意

ワンタッチスキップ、ワンタッチリプレイによるスキップ時に、映像がぶれることがあります。

スロー再生

再生中のタイトルを、スローで再生します。

1 再生中に、［スロー］ボタンを押す

スロー　リモコン

▶ スローモーションでタイトルが再生されます。

▶ 本体の表示窓には、［SLOW］と表示されます。

▶［スロー］ボタンを繰り返し押すと、スローモーションの速さが次のように切り替わります。

2 ［再生］ボタンを押すと、通常の速度で再生される

再生　リモコン

本体

注 意

スロー再生の倍率表示は目安です。必ずしも正確な倍率ではありません。

ワンポイント

スロー再生中は、次のボタンも使えます（追っかけ再生、お好み再生中は、［停止］ボタンは使えません）。

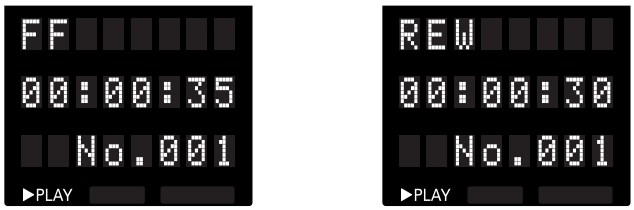
- ［早送り］：2 倍速の早送りになります
- ［巻戻し］：2 倍速の巻き戻しになります
- ［ワンタッチスキップ］：約 15 秒先までスキップします
- ［ワンタッチリプレイ］：約 15 秒前までスキップします
- ［一時停止］：再生を一時停止します
- ［停止］：再生を停止します

早送り・巻戻し

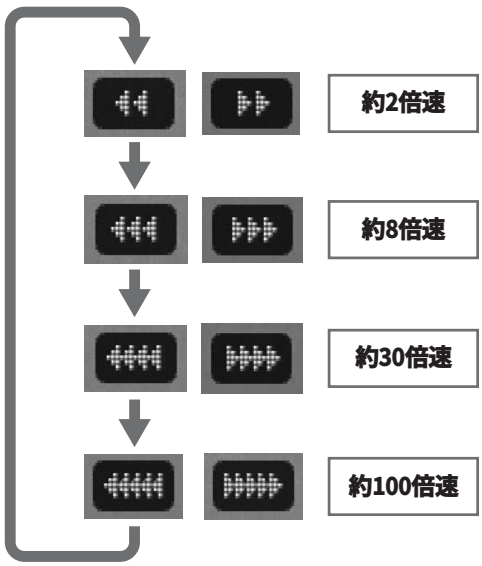
再生中のタイトルを、早送り・巻戻しすることができます。

1 再生中に、［早送り］ボタンまたは［巻戻し］ボタンを押す

▶ 本体の表示窓には、［FF］（早送り時）または［REW］（巻戻し時）と表示されます。



▶［早送り］／［巻戻し］ボタンを続けて押すと、早送り／巻戻しの速度が次のように切り替わります。同時に、速度に対応したマークがテレビに表示されます。



▶ 巻戻し時、および30倍速・100倍速の早送りは、映像はコマ送りで表示されます。

注 意

早送り、巻戻し再生の倍率表示は目安です。必ずしも正確な倍率ではありません。

2 ［再生］ボタンを押すと、通常の速度での再生に戻る

ワンポイント

早送り／巻戻し中は、次のボタンも使えます（追っかけ再生、お好み再生中は、［停止］ボタンは使えません）。

- ［スロー］　：1/2 倍速のスロー再生になります（繰り返し押すと速度が変わります）
- ［ワンタッチスキップ］　：約 15 秒先までスキップします
- ［ワンタッチリプレイ］　：約 15 秒前までスキップします
- ［一時停止］　：再生を一時停止します
- ［停止］　：再生を停止します

ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイ

タイトルの再生中に［ワンタッチスキップ］／［ワンタッチリプレイ］ボタンを利用すると、約 15 秒先／前にスキップできます。

1 タイトルの再生中に［ワンタッチスキップ］ボタンまたは［ワンタッチリプレイ］ボタンを押す

リモコン

リモコン

▶［ワンタッチスキップ］ボタンを押すと、約15秒先の位置にスキップして再生を開始します。

▶［ワンタッチリプレイ］ボタンを押すと、約15秒前の位置に戻って再生を開始します。

▶ テレビ画面には、スキップを示すマークが表示されます。

注 意

「約 15 秒」は目安です。正確に 15 秒のジャンプができるわけではありません。

追っかけ再生

「追っかけ再生」は、録画を続けながら録画中の番組を再生する機能です。これにより、録画が終了するのを待つことなく、録画中の番組を見ることができます。再生は、録画を開始した先頭から開始されます。

1 録画中に［タイムスリップ］ボタンを押す

▶ 現在録画している番組が先頭から再生されます。

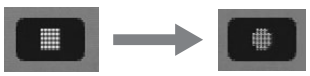
▶ テレビには追っかけ再生を示す情報が表示されます。

▶ 本体表示窓には［TS PLAY］と表示されます。同時に、最下部には［PLAY］および［REC］が表示されます。

2 ［タイムスリップ］ボタンを押して、追っかけ再生を終了する

▶ 追っかけ再生を終了すると、画面は録画中の映像に戻ります。このとき、表示窓には［REC　SP］（標準画質時）と表示され、録画中であることが表示されます。同時に、最下部にも［REC］と録画中であることが示されます。

▶ テレビには、再生を停止したマークと、録画中のマークが表示されます。

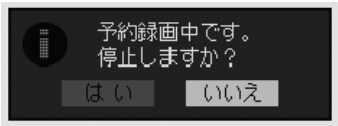


3 録画を中止したい場合は、［停止］ボタンを押して録画を停止する

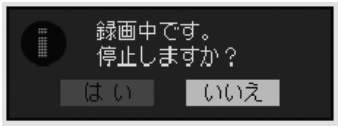
▶ 録画を継続したい場合はこの操作は必要ありません。

▶ テレビには、停止を示すマークが表示されます。

▶ 予約した録画の実行中に［停止］ボタンを押すと、次のような確認メッセージが表示されます。

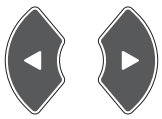


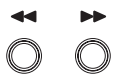
▶ ワンタッチ録画開始後、［録画延長＋］［録画延長－］で録画終了時刻を設定した場合は、次のような確認メッセージが表示されます。



▶ いずれの場合も、［はい］を選択すると録画が停止されます。［いいえ］を選択すると録画は継続されます。

▶［はい］［いいえ］の選択：


リモコン


本体

▶［はい］［いいえ］の決定：

リモコン

本体

ワンポイント

追っかけ再生中は、次のボタンも使えます。

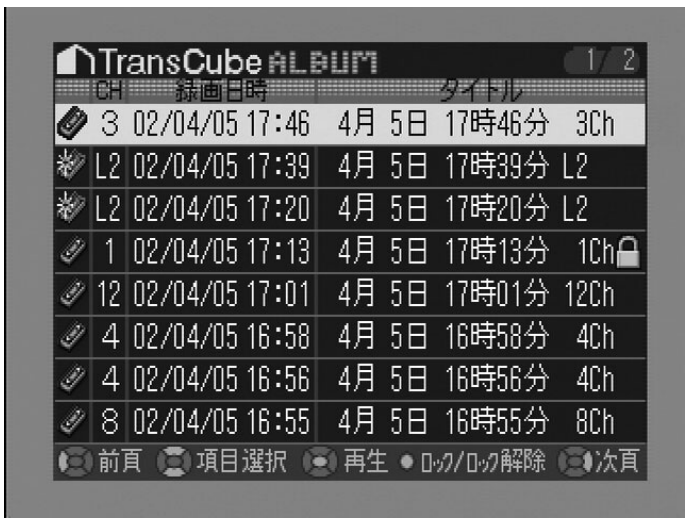
- ［早送り］　：2 倍速の早送りになります（繰り返し押すと速度が変わります）
- ［巻戻し］　：2 倍速の巻き戻しになります（繰り返し押すと速度が変わります）
- ［スロー］　：1/2 倍速のスロー再生になります（繰り返し押すと速度が変わります）
- ［ワンタッチスキップ］　：約 15 秒先までスキップします
- ［ワンタッチリプレイ］　：約 15 秒前までスキップします
- ［一時停止］　：再生を一時停止します

録画同時再生

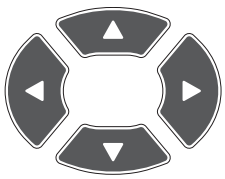
録画をしながら、すでに録画されているタイトルを再生できます。

1 ［ライブラリ］ボタンを押して、録画したタイトルの一覧を表示する

ライブラリ　リモコン



2 方向キーを押して、見たいタイトルを選択する



リモコン

3 方向キーの［決定］ボタンか［再生］ボタンを押すと、タイトルが再生される

リモコン

再生　リモコン

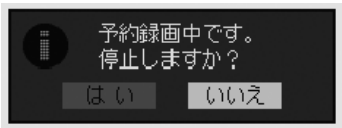
▶ 本体表示窓には、録画を示す［REC］と同時に、再生しているデータの情報が表示されます。

4 ［停止］ボタンを押すと、タイトルの再生が停止する

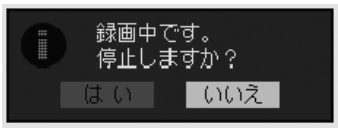
5 録画を中止したい場合は、もう一度［停止］ボタンを押して録画を停止する

▶ 録画を継続したい場合はこの操作は必要ありません。

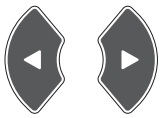
▶ 予約した録画の実行中に［停止］ボタンを押すと、次のような確認メッセージが表示されます。

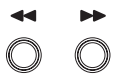


▶ ワンタッチ録画開始後、［録画延長＋］［録画延長－］で録画終了時刻を設定した場合は、次のような確認メッセージが表示されます。



▶［はい］［いいえ］の選択：


リモコン


本体

▶［はい］［いいえ］の決定：

リモコン

本体

ワンポイント

録画同時再生中は、次のボタンも使えます。

- ［早送り］　：2倍速の早送りになります（繰り返し押すと速度が変わります）
- ［巻戻し］　：2倍速の巻き戻しになります（繰り返し押すと速度が変わります）
- ［スロー］　：1/2倍速のスロー再生になります（繰り返し押すと速度が変わります）
- ［ワンタッチスキップ］　：約15秒先までスキップします
- ［ワンタッチリプレイ］　：約15秒前までスキップします
- ［スキップ＋］　：次のタイトルのレジュームポイントにスキップします
- ［スキップ－］　：前のタイトルのレジュームポイントにスキップします
- ［一時停止］　：再生を一時停止します

ワンポイント

番組の録画中に、別の番組を見たいということもあるでしょう。これを裏番組などといいますが、TransCube自身は裏番組を表示できません。この場合は、テレビを外部入力ではなく、通常のチャンネル表示に切り替えれば、裏番組を見ることができます。

レジューム再生

録画済みタイトルの再生中に再生を中止したとき、TransCubeはタイトルごとにその位置を記憶しておきます。再度同じ番組を再生すると、再生を停止した位置から再生が開始されます。この機能を「レジューム再生」と呼びます（レジューム＝resumeは「再開する」という意味です）。録画した直後のタイトルの場合、レジュームポイントは、タイトルの先頭になります。

録画済みタイトルが複数ある場合、最後に再生されたタイトルが「カレントタイトル」となります。テレビ視聴中や録画中に［再生］ボタンを押した場合、この「カレントタイトル」の「レジュームポイント」から再生が始まります。

レジューム再生中に［スキップ＋］または［スキップ－］ボタンを押すと、一覧に登録されている前後のタイトルを、その先頭、またはレジュームポイントから再生します。

1 ライブラリから好きなタイトルを選んで再生し、停止する

▶ 詳しい操作手順は20ページをご覧ください。

▶［停止］ボタンを押すと再生が停止し、その位置にレジュームポイントが設定されます。

▶ テレビには現在放送されている番組が表示されます。

2 ［再生］ボタンを押すと、手順1で停止した位置からタイトルが再生される

再生　リモコン

本体

▶ この場合、再生はレジュームポイントから開始されます。

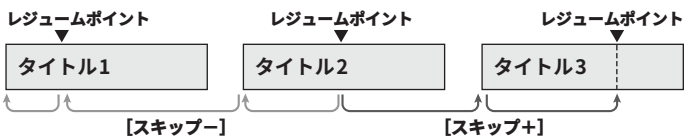
3 ［スキップ＋］または［スキップ－］ボタンを押す

スキップ－　スキップ＋　リモコン

本体

▶［スキップ＋］ボタンを押すと、一覧のうち、現在再生しているタイトルの1つ次のタイトルの先頭から再生されます。続けて［スキップ＋］ボタンを押すと、そのタイトルのレジュームポイントから再生されます。

▶［スキップ－］ボタンを押すと、現在再生中のタイトルの先頭から再生されます。続けて［スキップ－］ボタンを押すと、一覧のうち、現在再生しているタイトルの1つ前のタイトルのレジュームポイントから再生されます。



ワンポイント

- スロー再生中、早送り／巻き戻し中、一時停止中は、［スキップ+］／［スキップ−］ボタンは使えません。
- 再生停止後、再び録画したタイトルの一覧を表示し、同じタイトルを選択して再生すると、前回再生したときに停止した位置から再生されます。
- レジュームポイントは 1 つのタイトルに 1 箇所設定できます。録画されているすべてのタイトル（最大 100 個）に設定されます。
- 再生したタイトルが 1 つもない場合には、最後に録画したタイトルの先頭から再生されます。
- タイトルの先頭から 15 秒間にはレジュームポイントを設定しません。
- タイトルの最後で停止したときには、そのタイトルの先頭にレジュームポイントが設定されます。

注 意

レジュームポイントは、最後に実際に再生を終了した位置から、前後に数秒ずれることがあります。

注 意

タイトルスキップ直後は、映像と音声が一瞬乱れることがあります。